



◇『コロナ感染体験者からのメッセージ』

副本部長・広報委員長 中村 克敏
〔城東支部 株中彦運送〕

平素は、ロジ研機関紙「ひびき」をご愛読頂きまして誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済全体に大きな負の作用が引き起こり、この先も見通しが見えない状況が続いております。統計上、感染者数も一時期よりは少なくなっているとはいえ、まだまだ先行き不透明な状況です。

皆様の身近にも、無症状での感染、入院治療をされた方などいらっしゃるのではないかと思います。協会においても、万全を期しながら、不運にも感染されてしまった会員の方がいらっしゃいます。

今回は、新型コロナに罹患し回復された方に取材することが出来ました。この記事をご一読頂き、皆様のご家族やご友人、そして協会会員の皆様の感染防止策に役立てて頂ければと思います。なお、取材の中における内容は、すべてが医学的、科学的に立証されたものではありません。あくまで体験談とそれに基づくメッセージをつづらせて頂きます。

<罹患し、入院するまでの経緯>

- 出張先から東京へ戻るために、空港までリムジンバスを利用した。自席の斜め前に座っていた乗客が、見るからに熱もあり具合が悪そうな様子だった。
- 数日後、喉の痛みを感じ、その翌日には 38.9℃の発熱があったため、自宅内において自主隔離をした。
- 次の日、かかりつけの医者に行き診察を受けたが、その時は風邪の症状であったので、特に気に留めることもなかったが、念のために PCR 検査を受けた。
- PCR 検査の結果の知らせが翌日に来るはずだが、夕方になっても連絡が来なかったため、安心していたところに「陽性」との連絡を受ける。
- 保健所に連絡を入れ、自身の行動記録について、携帯を見ながら 3 週間遡り説明をした。その中で、おそらく空港までのバス内で感染した可能性が高いであろうと言われた。自身の持病等を説明したところ、重症化リスクが高いとの判断で、翌日、迎えの車が来て入院となる。その時、着替え、処方されている薬の持参を指示された。ここまでは、体調不良を感じてから 4 日間である。

<入院中の症状、経過>

- 元々の持病などから重症化リスクが高いとの説明を受けた。すぐにアビガンを処方されたが、入院して 2 日後には体内の酸素濃度が低下し始めた。その後も低下が続き、個室に転室した。
- 日に日に重症化の兆しが表れ、体内の酸素濃度が 90% (正常値 96%以上) を切ることはしばしば続き、HCU (高度治療室) に移る。HCU において酸素吸入の装置を装着される。家族の許可を頂いたとの医師からの説明があり、気管挿管措置をすることになる。
- それから 2 日間は全く記憶がなく、その後意識は戻ったが、体内の酸素濃度が戻らず酸素吸入が続いた。ステロイドと抗ウイルス剤の点滴も同時に行われ、1 か月の入院を余儀なくされた。
- 入院終盤には、肺と筋力のリハビリが行われ、リハビリ担当の医師からかなり厳しい指導を受けた。ここでしっかりリハビリをしないと、一生酸素ポンペを背負っての生活になるとのことだった。
- 退院後の現在も、息切れ等、階段の上り下りは未だに厳しい状況が続いている。

なお、入院中、険しい山を登っていたり、天井から虫が湧き出てくる幻覚を見た覚えがあり、いわゆる臨死体験をされるほど危険な状態であったとのこと。

発病から 1 週間が山だそうです。そのうち重症化する割合は 1 割弱。新型コロナは肺の病気です。肺の機能が侵されることにより、脳への酸素供給が出来なくなり死に至るケースが多いようですが、基本的に新型コロナは人間が持ち合わせている自然免疫で治せる病気とのこと。また、男性と女性の感染率では、男性の方が高く、重症化しやすいとの話を入院先の看護師さんからお聞きしたそうです。

新型コロナは、いわゆる「ロシアンルーレット」のように誰もが感染する可能性があることを常に考えてほしいと、強く訴えられました。また、重症化した場合は、社会復帰がかなり厳しい状況になるとも話されていました。

現在、10 都府県に緊急事態宣言が発令されています。飲食店などの時短営業により、高速道路上の SA 及び PA の営業時間も 20 時までとなり、長距離運行をしているドライバーの皆さんの休憩休息にも大きな影響を及ぼしてきているなど、日本の物流を担っている我々業界にも大きな波紋を呼んでいます。

新型コロナは誰でも感染する事を今一度真摯に受け止め、日々の生活をしっかりと見直していきたいと思います。自分を守ることは、家族を守り、会社を守り、強いては日本を守ることに繋がります。一日も早い終息を願うと共に、普通の生活が戻ることを願わずにいられません。

◇『三組織合同セミナー開催報告』

今年度の三組織合同セミナーはロジ研が担当し、2月2日(火)東ト総合会館7階大会議室において、講師にフリーライターの橋本愛喜氏をお招きし、「取材から見える運送業界の問題と課題」をテーマにWeb併用にて開催いたしました。



◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 3/10 (水) ロジ研チャリティゴルフコンペ (太平洋クラブ八千代コース)
- 3/17 (水) (予定) 正副本部長会議・幹事会合同会議 (東ト総合会館7階大会議室・Web併用)